

中海 エコ活動 レポート

中海の環境保全活動と
ワズユースを紹介します

第24号
平成31年3月



緑綬褒章とは？

緑綬褒章は長年にわたり
社会に奉仕する活動（ボ
ランティア活動）に従事
し、顕著な実績を挙げた
方に授与されます。



祝 向井哲朗さん 緑綬褒章受章

平成30年秋の褒章が発表され、鳥取県米子市の向井哲朗さんが緑綬褒章を受章されました。向井さんは環境意識の向上を目指して、環境新聞「中海」の発行や地域住民への環境教育に努めて来られました。

平成32年11月には環境新聞「中海」は400号を迎える予定です。



中海体験クルージング・中海環境フェアに参加されている向井さん

第377号(1) 環境新聞「中海」 2018年(平成30年)12月1日(木)

平井鳥取県知事から叱咤激励のメッセージを戴く 向井哲朗が緑綬褒章を賜いました

この度、私は『平成30年秋の褒章・緑綬褒章』に因りて、11月5日、鳥取県庁で平井知事より表彰状と緑綬褒章の贈呈を受けました。名譽ある表彰を蒙る事に大変光栄に思っています。この日、いろいろな方々もご参加してあります。本報に關して多くの賛助者の皆様より宛書のメッセージを頂くの機会に感謝の意で一杯です。知事公邸で平井知事と交際する貴重な機会に、このたびはご来賓の皆様のご厚意により大変感謝いたします。そしてこの度、私の緑綬褒章受章に對して、本報に特別に感觸を綴り記しております。(向井哲朗)

自然を愛し、子どもたちを育み、中海を守る

鳥取県環境政策課 主任 佐藤 昭

「環境新聞『中海』は、鳥取県民の環境意識を高め、自然を愛し、子どもたちを育み、中海を守ることに貢献しています。向井さんは、この『中海』の発行を通じて、多くの環境教育活動に取り組んでこられました。その功績を高く評価し、緑綬褒章を授与させていただきます。今後も、『中海』を通じて、鳥取県の環境保全活動を支援し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。」

Nature never delivers. For heart that loved
(鳥取県環境政策課 主任 佐藤 昭)

「向井さん、この度は、緑綬褒章を授けられたこと、本当に素晴らしいですね。『中海』の発行を通じて、多くの環境教育活動に取り組んでこられました。その功績を高く評価し、緑綬褒章を授与させていただきます。今後も、『中海』を通じて、鳥取県の環境保全活動を支援し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。」

環境新聞「中海」377号



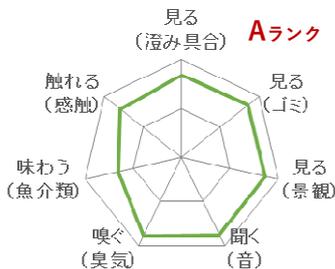
子どもたちに環境教育をしている向井さん

■環境新聞「中海」発行者
彦名地区チビッ子 環境パトロール隊
向井 哲朗
電話0859-29-3974

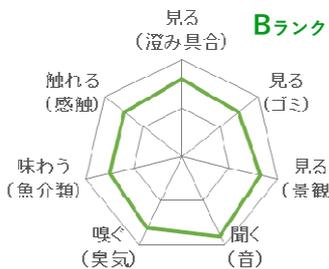
中海湖沼環境モニタ－調査結果 平成29年10月～平成30年9月

鳥取・島根両県ではわかりやすく中海の環境が評価できるような人の五感（見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触れる）を用いた湖沼環境調査を行っています。この調査は島根県では平成16年10月から鳥取県では平成19年10月から行っています。グラフは大きな正七角形に近づくほど、良好で親しみやすい環境であることを示しています。

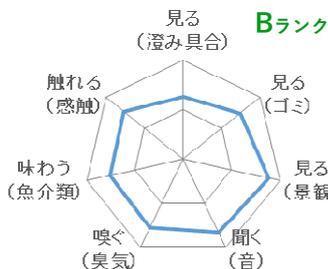
⑤本庄水辺の楽校付近



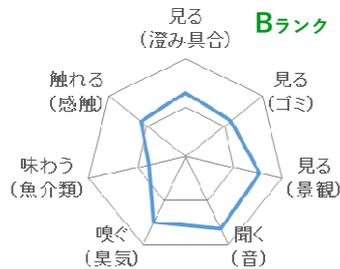
⑥旧森山公民館付近



⑤西工業団地付近



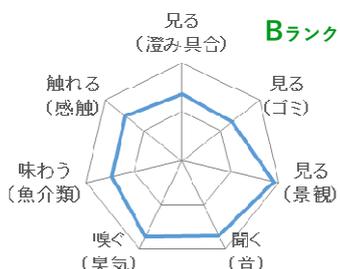
④中海干拓地付近



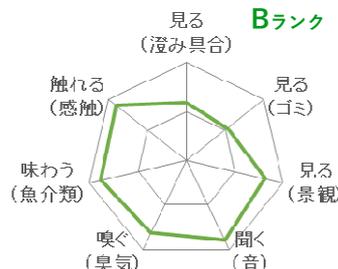
④波入港付近



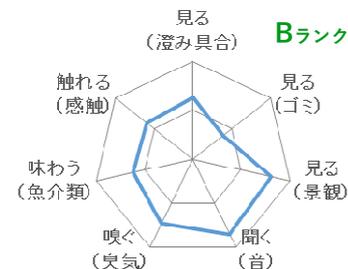
③ウインズ米子付近



③大海崎付近



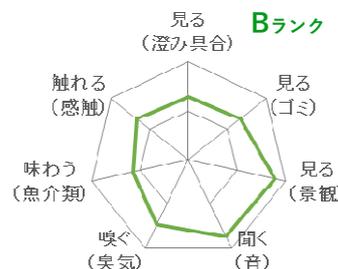
②水鳥公園付近



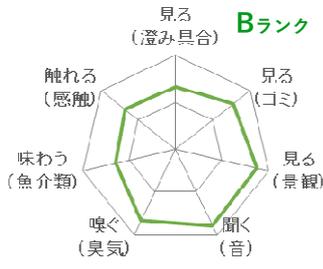
■五感による湖沼ランク表

合計点数	ランク	評価内容
80点以上	A	おおむね良好で親しみやすい環境にあると感じられる。
50点～79点	B	やや気になる面があるが、まずまず良好な環境であると感じられる。
49点	C	快適さに欠け、親みにくい環境にあると感じられる。

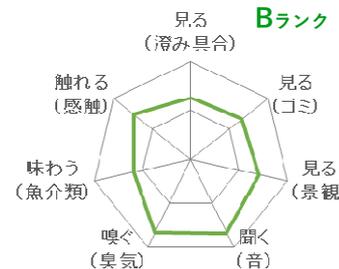
②白鳥海岸付近



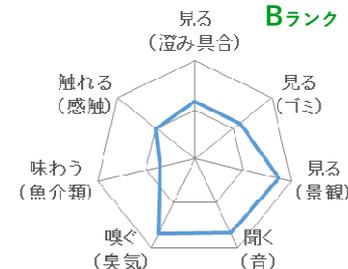
①十神山なぎさ公園付近



⑦須崎海岸付近



①湊山公園付近





水陸両用機



水陸両用機

水陸両用機で「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」を遊覧飛行

松江市では、中海周辺の振興を図るため水陸両用機の運航、水鳥の観察、サイクリング等の拠点施設として「なかうみスカイポート」（松江市中海振興多目的施設）を松江市上宇部尾町に整備しました。

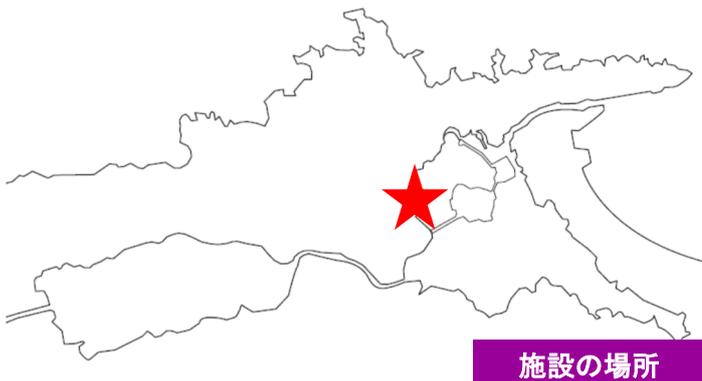


上空から眺めた中海、八束町



上空から眺めた島根半島

特に水陸両用機については、平成30年6月24日から10月21日までの期間に試験運航を行い、約290名の方がご搭乗されました。平成29年12月に日本ジオパークに認定された「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」を空から眺めるコースでは、島根半島の入り組んだリアス式海岸を見渡すことができ、搭乗者された方からは、「新たな視点から見る日本海や市街地の街並みは、とても魅力的だった。」などの感想がありました。



施設の場所



搭乗待合所の内観

4月からの本格運航に向けて、運航会社がコース、料金等を検討していますので詳しくは運航会社までお問合せください。また、施設では野鳥観察やサイクリング休憩機能を備えており、4月の本格運航に合わせ使用可能となりますので是非ご利用ください。



施設全体

- 水陸両用機の運航についての問合せ先
（株）せとうちSEAPLANES
電話0848-70-0388
- 施設の問合せ先
松江市地域振興課
電話0852-55-5519

中海自然再生協議会からのお知らせ



イメージキャラクター
なかうみちゃん

第7期公募委員を募集しています。

「自然再生推進法」に基づき平成19年6月に設立された「中海自然再生協議会」は、専門家、行政機関、公募委員などで組織され、これまでに中海自然再生全体構想や事業実施計画を策定し、中海自然再生に関する事業を進めています。

このたび、「中海自然再生協議会（第6期）」委員の任期が平成31年3月31日で満了することを受け、第7期の公募委員を募集します。全体構想見直しの検討を開始する協議会となりますので、多くの方々からの応募をお待ちしております。

1 主な活動内容

自然再生推進法に基づく中海自然再生事業の実施状況の確認と討議、適切な助言や提言の実施など

2 任期

平成31年4月1日から平成33年3月31日まで（2年間）※報酬及び旅費の支給はありません。

3 応募資格

協議会の会議（年2、3回程度）に出席し、討議に参加できる人又は団体

4 応募期間

平成31年3月1日から同年3月31日まで

5 応募方法

方 法：電子メール、FAXまたは郵送に限ります。

必要事項：①氏名、②年齢、③性別、④所属、⑤住所、⑥連絡先（電話、FAX、電子メール等）、
⑦中海に関し関心を持っている事項

注意事項：電子メールによる申し込みの場合、件名を「協議会応募申込」としてください。



6 申込み・問合せ先

認定NPO法人自然再生センター

〒690-0064 島根県松江市天神町114

電話 0852-21-4882、FAX 0852-61-0900、電子メール info@sizen-saisei.org

ホームページ <https://www.nakaumi-saisei.org/index.html>

photo by ninjin

中海エコ活動レポートに掲載する記事、イベント情報、写真を募集しています！あなたの活動を記事にしませんか？お気軽に下記連絡先に御相談ください。ホームページではこれまでのバックナンバーを公開しています。

編集・発行者

鳥取県西部総合事務所

生活環境局環境・循環推進課

〒683-0054 鳥取県米子市靴町一丁目160

電話 (0859) 31-9322

E-mail: seibuseikatsukankyo@pref.tottori.lg.jp

Homepage: <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=69208>

島根県環境生活部環境政策課

宍道湖・中海対策推進室

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

電話 (0852) 22-6445

E-mail: kankyo@pref.shimane.lg.jp

Homepage: http://www.pref.shimane.lg.jp/shinjiko_nakaumi/